

富山市中教研研究計画

会長 水野 昌之

会員数 711名(6名)

1 本年度研究の基本方針

中学校教育の本義を省察し、生徒一人一人の能力を的確に把握するとともに、その可能性を最大限に伸ばし、豊かな心とたくましい人間の育成に努める。

このため、研究の焦点を明確にし、各教科、道徳、特別活動等の理論的研究と実践的研究を重んじ、指導内容及び指導法の深化・充実と評価の工夫に努める。

- (1) 「生きる力」を育むことを基本的なねらいとして、各教科、道徳、特別活動の特質等を踏まえ、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を重視した上で、思考力・判断力・表現力等の育成を図る。
- (2) 個性を生かし主体的に課題を追究する生徒を育てる教育活動の在り方を研究する。

2 部会構成と研究主題

【 () 内の数は、特別支援教育諸学校の会員数(外数) 】

番号	部会名	部員数	研究主題
1	国語	91	言葉に対して自覚的に思考・判断・表現する言語活動を通して、国語の能力を高めていくための指導はどうあればよいか。 －言葉についての課題解決を主体的・対話的に行う授業づくり－
2	社会	86	広い視野に立って、社会的事象を主体的に追究する生徒を育てるにはどのようにすればよいか。 －思考力・判断力・表現力等を育てるための教材開発や学習活動はどうあればよいか－
3	数学	112	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育てる指導はどうあればよいか。 －数学を活用して事象を論理的に考察し、表現する力を育てるための指導はどうあればよいか－
4	理科	90	「自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成するためにはどうすればよいか」 －見通しをもって観察・実験等を行い、科学的根拠を基に表現する力を養う学習活動の工夫－
5	音楽	34	幅広い音楽活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するにはどうすればよいか。 －「音楽的な見方・考え方」を働かせた学習活動の工夫－
6	美術	33	美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育て、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める学習指導はどうあればよいか。 －美術の基礎的な能力の育成を目指して－
7	保健体育	79	心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって運動に親しみ、明るく豊かな生活を営む態度を育てる学習指導はどうあればよいか。 (体育分野) 身に付けた知識や技能を基に、その段階に応じ運動を豊かに実践していくための指導過程はどうあればよいか。 (保健分野) 自らの健康を管理し、改善しようとする実践力を育てるための指指過程はどうあればよいか。
8	技術・家庭(技術)	27	生活を工夫し創造する資質・能力を育てる指導過程はどうあればよいか。
9	技術・家庭(家庭)	27	
10	英語	103	コミュニケーション能力の基礎を養うにはどのように指導したらよいか。 －4技能を総合的に育成するための言語活動を通して－

番号	部 会 名	部員数	研 究 主 題
11	道 徳	27 (重複)	道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深める道徳の授業はどうあればよいか。 －主として自分自身に関すること－
12	特別活動	27 (重複)	学級活動を通して身に付けるべき資質・能力を育成するための指導はどうあればよいか。 －生徒が主体的に参加し、合意形成を目指す話し合い活動を通して－
13	特別支援	63 (重複) (6)	特別な支援を必要とする生徒が個性や能力を最大限に発揮し、進んで社会参加できるための指導はどうあればよいか。 －生徒が成就感や達成感を味わえる学習過程の工夫－
14	保 健	29	生涯にわたって主体的に心身の健康づくりに取り組み、健康で安全な生活を営む能力や実践的な態度を育てる健康教育はどのようにすればよいか。 －生徒が心身の健康について理解を深め、主体的に健康な生活を実践するための指導の工夫－

3 年間計画の概要

月	会 合 名	会 場	内 容
4	全体研修会	婦中ふれあい館 速星中学校	平成29年度事業・決算報告、平成30年度役員選出事業計画・予算審議、各部会の組織・年間研究計画の作成
6	教科部会 特別部会	各 会 場	研究内容・方法の検討
8	教科部会 特別部会	各 会 場 各 会 場	富山地区大会の事前研究、現地研修 富山地区大会の事前研究、現地研修
10	県中教研 (富山地区大会)	各 会 場	授業研究と研究協議会
1	教科部会 特別部会	各 会 場	本年度のまとめと反省、次年度の研究主題の検討
2	内容研究会	興南中学校	平成30年度庶務・決算中間報告 平成31年度運営・予算審議

4 留 意 事 項

- (1) 市、県の教育方針及び県中教研の重点目標を基礎にしなが、市中教研の伝統を受け継ぎ、さらにその深化・充実に努める。
- (2) 各教科、道徳、特別活動等の基礎的・基本的な内容が確実に身に付く指導内容及び指導法の深化・充実に評価の工夫に努める。
- (3) 問題の所在を的確にとらえ、過去の研究成果を大切な出発点としなが、実践的研究の累積を図る。